



RITSUMEIKAN

立命館大学大学院  
先端総合学術研究科  
2022年院生プロジェクト

# 「美学・芸術学基礎文献講読会」

本研究会の目的は、研究会メンバーが今後自身の研究の発表、または学会等に参加する際に必要な美学・芸術学の知識を身につけることである。そのために、基礎的な文献講読、さらに外部から講師を招聘し、より専門的に知識を深めていく。

## 読書会

第一回:7月29日

第二回:8月中旬

## 講義

第一回:9月

第二回:10月

## 講読文献

『美と藝術の扉—古代ギリシア、カント、そしてベルクソン』田之頭一知著,2017,萌書房



## 招聘予定の講師

・大阪芸術大学芸術学部

田之頭一知 教授

・京都大学大学院文学研究科

杉山卓史 准教授

## 研究会メンバー

- ・中川 陽平(表象一回生)—ヴァイオリン製作の現場を対象とした「伝統」と「科学技術」の研究
- ・高畑 和輝(表象一回生)—音楽美学、特に音楽的時間について研究
- ・藤本 流位(表象四回生)—2000年代以降の現代アートにおける暴力の表象を研究
- ・西本 春菜(公共一回生)—ハンセン病療養所に関する芸術活動をめぐる研究
- ・北村 公人(表象一回生)—精神科医であるガエタン・ガシアン・ド・クレランボーの「固定点 point d'appui」について研究
- ・鶴見 亮輔(表象一回生)—ジャズピアニストのハービー・ハンコック批評に関する研究

代表連絡先:中川陽平([gr0583hp@ed.ritsumei.ac.jp](mailto:gr0583hp@ed.ritsumei.ac.jp))

プロジェクトに関する詳細(先端研院生プロジェクトサイト)

